

大会名 Competition	第41回全国高等学校バスケットボール 選抜優勝大会秋田県予選【男子決勝リーグ】
NO. A-4	Year Month Day Time 2010 年 10 月 31 日 13 : 30
場 所 Place	能代市総合体育館



秋田県高等学校体育連盟
バスケットボール専門部

チームA 能代工	<table border="1"> <tr><td>26 1st 11</td></tr> <tr><td>34 2nd 21</td></tr> <tr><td>26 3rd 10</td></tr> <tr><td>31 4th 31</td></tr> <tr><td>OT</td></tr> </table>	26 1st 11	34 2nd 21	26 3rd 10	31 4th 31	OT	チームB 平成
26 1st 11							
34 2nd 21							
26 3rd 10							
31 4th 31							
OT							
117 ○		73 ●					

主審:Referee
信太悦美 (秋田)
副審:Umpire
菊地嘉晴 (秋田)
テーブル・オフィシャルズ:Table officials
能代商業高校

No.	Pl-in	選手氏名	Name of Players	PTS	3 P	2 P	FT	F	No.	Pl-in	選手氏名	Name of Players	PTS	3 P	2 P	FT	F
4	／	熊坂兼	兼	2	0	1	0	0	4	×	高橋慶	CAP	9	1	3	0	4
5	×	西島宏哉	哉	13	0	6	1	1	5	×	金村正輝	輝	2	0	1	0	3
6	×	笹木皓太	CAP	4	0	2	0	0	6	／	小嶋克稔	稔	16	0	8	0	3
7	×	秋葉真司	司	10	0	4	2	3	7	×	佐藤恭輔	輔	6	1	1	1	0
8	×	志水一希	希	0	0	0	0	0	8	×	高橋雄大	大	25	5	5	0	0
9	／	中山祐樹	樹	20	0	8	4	3	9	／	菊地敬之	之	7	0	3	1	5
10	／	熊谷慎也	也	6	0	3	0	0	10	×	長瀬智侑	侑	0	0	0	0	0
11		田中浩喜	喜	-	-	-	-	-	11		小野寺慶	慶	-	-	-	-	-
12	×	溝坂太成	成	11	1	4	0	1	12		阿部隼平	平	-	-	-	-	-
13		土屋真人	人	-	-	-	-	-	13	／	佐々木洸人	人	8	0	4	0	3
14	／	野里惇貴	貴	28	1	12	1	0	14		高橋雄也	也	-	-	-	-	-
15	／	中村正也	也	16	0	7	2	2	15		善村大樹	樹	-	-	-	-	-
16	／	伊藤健太	太	3	1	0	0	0	16		鈴木裕士	士	-	-	-	-	-
17	／	金田海郷	郷	0	0	0	0	0	17		鈴木寿仁	仁	-	-	-	-	-
18	／	吉川雄磨	磨	0	0	0	0	0	18		斉藤巧	巧	-	-	-	-	-
19	／	三浦基	基	4	0	2	0	0	19		石垣大輝	輝	-	-	-	-	-
20		松橋広武	武	-	-	-	-	-	20		嵐田優作	作	-	-	-	-	-
21		高橋一生	生	-	-	-	-	-	21		奥山丈一郎	郎	-	-	-	-	-
コーチ		佐藤信長	長						コーチ		佐々木信吾	吾					
Aコーチ		安保敏明	明						Aコーチ		畠山喬丞	丞					
合 計				117	3	49	10	10	合 計				73	7	25	2	18

※×:スター 〳:交代選手 PTS:ポイント 3P:3P* イントシュート 2P:2P* イントシュート FT:フリースロー F:ファウル

今大会最終ゲームとなった能代工高対平成高戦。能代工のハーフコート・マンツーマンに対し、平成は2-3のゾーンで臨んだ。第1ピリオド立ち上がり、最初の得点は平成#4高橋の力強いドライブからのバスケットボールカウント・ワンスロー。しかし能代工は間髪入れず速攻からレイアップを3連続で決める。その後は能代工が#14野里の速攻やミドルシュート、#15中村のゴール下などで着々と加点する。第1ピリオドは26-11で終了した。

第2ピリオドも先取点は平成。#6小嶋が速攻からレイアップ、ゴール下と連続得点を決める。一方の能代工は速攻のロングパスから#14野里が2本ランニング・タップシュートを決めるなど、豊富な運動量と高い身体能力で観客を魅了する。このあたりから試合のペースが上がり、能代工#12溝坂の3P、#9中山のミドルシュート決めると、平成は負けじと#9の鋭いカットインや#4高橋の激しいディフェンスからのスティール、そして速攻へとつなげる。前半は60-32で終了した。

第3ピリオドは開始早々から能代工が激しいディフェンスでペースをつかみ、#14野里、#12溝坂のミドルシュートなどで加点する。平成は序盤に挙げた#5のゴール下と#4高橋の3Pから4分間無得点。結局平成は10得点に留まり、第3ピリオドは86-42で終了。

第4ピリオド、能代工は#10熊谷を投入し1-3-1ゾーンを展開する。しかし平成は#6小嶋がゴール下で踏ん張り、#8高橋の3連続3Pを呼び込むなど、第4ピリオドだけで平成は32点を挙げた。平成は随所に素晴らしい速攻を繰り出し、点差が広がる中でも運動量を落とさず、自分たちのスタイルを崩さなかった点は特筆に値する。最終的に117-74で能代工が41年連続41回目の優勝を決めた。

大会名 Competition	第41回全国高等学校バスケットボール 選抜優勝大会秋田県予選【男子決勝リーグ】
NO. B-4	Year Month Day Time 2010年10月31日13:30
場所 Place	能代市総合体育館



秋田県高等学校体育連盟
バスケットボール専門部

チームA		チームB															
秋田南	<table border="1"> <tr><td>22</td><td>1st</td><td>7</td></tr> <tr><td>13</td><td>2nd</td><td>23</td></tr> <tr><td>12</td><td>3rd</td><td>10</td></tr> <tr><td>17</td><td>4th</td><td>14</td></tr> <tr><td colspan="3">OT</td></tr> </table>	22	1st	7	13	2nd	23	12	3rd	10	17	4th	14	OT			秋田西
22	1st	7															
13	2nd	23															
12	3rd	10															
17	4th	14															
OT																	
64 ○		54 ●															

主審:Referee
升屋 章 (秋田)
副審:Umpire
水木 順仁 (秋田)
テーブル・オフィシャルズ:Table officials
能代商業高校

No.	Pl-in	選手氏名	Name of Players	PTS	3P	2P	FT	F	No.	Pl-in	選手氏名	Name of Players	PTS	3P	2P	FT	F
4	×	鈴木 将	CAP	23	0	7	9	0	4	×	河村 祐亮	CAP	0	0	0	0	2
5	×	清水 拓摩		15	1	5	2	2	5	×	大塚 直道		5	0	2	1	5
6		野田 和哉		-	-	-	-	-	6		浅野 大地		-	-	-	-	-
7		佐藤 翔太		-	-	-	-	-	7	×	進藤 大地		34	5	8	3	4
8	×	佐藤 貴法		11	1	2	4	3	8	×	嘉藤 晃平		9	2	1	1	3
9	/	館岡 滉人		1	0	0	1	1	9	/	田村 悠貴		0	0	0	0	1
10		中島 健太		-	-	-	-	-	10	×	石澤 雄太		4	0	2	0	3
11		齊藤 凌也		-	-	-	-	-	11	/	寺田 舜		-	-	-	-	1
12		成田 海		-	-	-	-	-	12	/	鎌田 朋大		0	0	0	0	0
13	×	中道 聖也		7	1	0	4	0	13	/	工藤 恭輔		2	0	1	0	3
14	×	渡邊 基大		7	0	3	1	2	14		木村 望		-	-	-	-	-
15		船木 聖悟		-	-	-	-	-	15		伊藤 光熙		-	-	-	-	-
16		館岡 裕介		-	-	-	-	-	16		菅原 周弥		-	-	-	-	-
17		石川 貴大		-	-	-	-	-	17		山内 望達		-	-	-	-	-
18		小坂 洋		-	-	-	-	-	18		小林 来世		-	-	-	-	-
19		竹村 峻		-	-	-	-	-	19		真壁 航太		-	-	-	-	-
20		七尾 新太郎		-	-	-	-	-	20		柴田 和延		-	-	-	-	-
21		鈴木 諒		-	-	-	-	-	21		嵯峨 優翔		-	-	-	-	-
コーチ		村越 竜也							コーチ		小松 和幸						
アコーチ		佐藤 絵里子															
合計				64	3	17	21	8	合計				54	7	14	5	22

※×:スター /:交代選手 PTS:ポイント 3P:3Pポイントシュート 2P:2Pポイントシュート FT:フリースロー F:ファウル

両チーム一勝一敗で迎えた決勝リーグ最終戦。第1ピリオドは秋田南がリードする展開。#4鈴木を中心とした連続13得点を含むラッシュで序盤17-4とリードする。秋田西は外角からのシュートが決まらず、残り2分に#7進藤がゴール下をねじ込み加点するも、第1ピリオド終わって22-7と大きく差をつけられての立ち上がりとなった。

第2ピリオドは秋田西が当たりの出始めた#7進藤を中心に追いつける展開。内、外とバランスよく加点し、一時は3点差まで追いつける。しかし、秋田南は#14渡邊のオフENSリバウンド、#5清水の得点などゴール下での強さを見せ、前半終了して35-30と秋田南5点リードでの折り返しとなった。

第3ピリオドは両チーム共に相手に気持ちよくシュートを打たせず、守りあいの展開に。その展開の中秋田西が一時は37-38と逆点するものの、秋田南はファウルで得たフリースローで確実に加点し、47-40と7点リードで最終ピリオドを迎えることになる。

最終ピリオド、秋田西は#7進藤を中心に粘りを見せるものの、秋田南が危なげない戦いを見せ、64-54で勝利し、二勝一敗で成績を二位とした。

大会名 Competition	第41回全国高等学校バスケットボール 選抜優勝大会秋田県予選【男子決勝リーグ】
NO. A-2	Year Month Day Time 2010年10月31日10:30
場所 Place	能代市総合体育館



秋田県高等学校体育連盟
バスケットボール専門部

チームA 能代工	<table border="1"> <tr><td>17 1st</td><td>14</td></tr> <tr><td>26 2nd</td><td>16</td></tr> <tr><td>22 3rd</td><td>5</td></tr> <tr><td>20 4th</td><td>15</td></tr> <tr><td colspan="2">OT</td></tr> </table>	17 1st	14	26 2nd	16	22 3rd	5	20 4th	15	OT		チームB 秋田南
17 1st	14											
26 2nd	16											
22 3rd	5											
20 4th	15											
OT												
85 ○		50 ●										

主審:Referee
佐藤良明 (秋田)
副審:Umpire
江島尚 (秋田)
テーブル・オフィシャルズ:Table officials
能代高校(女子)

No.	Pl-in	選手氏名	Name of Players	PTS	3 P	2 P	FT	F	No.	Pl-in	選手氏名	Name of Players	PTS	3 P	2 P	FT	F
4		熊坂兼		-	-	-	-	-	4	×	鈴木将	CAP	0	0	0	0	0
5	×	西島宏哉		10	0	4	2	1	5	×	清水拓摩		8	0	4	0	2
6	×	笹木皓太	CAP	2	0	1	0	1	6		野田和哉		-	-	-	-	-
7	×	秋葉真司		2	0	1	0	2	7	/	佐藤翔太		14	2	4	0	2
8	×	志水一希		4	0	1	2	0	8	×	佐藤貴法		6	2	0	0	1
9	/	中山祐樹		13	0	6	1	2	9	/	館岡混人		5	1	1	0	1
10	/	熊谷慎也		0	0	0	0	1	10		中島健太		-	-	-	-	-
11		田中浩喜		-	-	-	-	-	11		齊藤凌也		-	-	-	-	-
12	×	溝坂太成		23	1	10	0	3	12	/	成田海		4	0	1	2	2
13		土屋真人		-	-	-	-	-	13	×	中道聖也		6	0	3	0	0
14	/	野里惇貴		9	1	3	0	1	14	×	渡邊基大		5	0	1	3	2
15	/	中村正也		15	0	7	1	2	15	/	船木聖悟		2	0	1	0	0
16	/	伊藤健太		7	0	3	1	0	16	/	館岡裕介		0	0	0	0	1
17		金田海郷		-	-	-	-	-	17		石川貴大		-	-	-	-	-
18		吉川雄磨		-	-	-	-	-	18		小坂洋人		-	-	-	-	-
19	/	三浦浦基		0	0	0	0	0	19		竹村峻		-	-	-	-	-
20		松橋広武		-	-	-	-	-	20		七尾新太郎		-	-	-	-	-
21		高橋一生		-	-	-	-	-	21		鈴木諒		-	-	-	-	-
コーチ		佐藤信長							コーチ		村越竜也						
Aコーチ		安保敏明							Aコーチ		佐藤絵里子						
合計				85	2	36	7	13	合計				50	5	15	5	11

※×:スター /:交代選手 PTS:ポイント 3P:3Pポイントシュート 2P:2Pポイントシュート FT:フリースロー F:ファウル

決勝リーグ、能代工と秋田南の対戦。両チームともオールコートマンツーマンでスタート。立ち上がり、両チームとも厳しいディフェンスでお互いに得点を許さない。2分過ぎまで無得点が続く中、先制は秋田南。#13中道、#5清水が得点し、リードする。対する能代工は#12溝坂の得点から反撃開始。#8志水のスティールから#5西島の速攻、#6笹木のカットインなどで逆転し、第1ピリオドは17-14能代工リードで終了。

第2ピリオドは能代工#9中山、#15中村がゴール下で強さを発揮し優位にゲームを進める。秋田南も#7佐藤翔の3Pなどで対抗するが徐々に差が開き始める。前半43-30能代工リードで終了。

第3ピリオドは能代工の一方向的展開。#9の速攻、#12のジャンプシュートなどで怒濤の攻撃。また、ディフェンスのプレッシャーも厳しく、秋田南は思うようにシュートを打つことができず苦しい展開。65-35で終了。

最終ピリオドも能代工が#15の速攻、#16伊藤のカットインなどでつけている隙を見せない。秋田南も#7の得点で反撃を試みるも点差は縮まらない。結局85-50で試合終了。その中で秋田南唯一の3年生#7が能代工に対し、果敢に立ち向かっていく姿が印象的であった。

大会名 Competition	第41回全国高等学校バスケットボール 選抜優勝大会秋田県予選【男子決勝リーグ】
No. B-2	Year Month Day Time 2010年10月31日10:30
場所 Place	能代市総合体育館



秋田県高等学校体育連盟
バスケットボール専門部

チームA 平成 74 ●	<table border="1"> <tr><td>23</td><td>1st</td><td>19</td></tr> <tr><td>10</td><td>2nd</td><td>20</td></tr> <tr><td>16</td><td>3rd</td><td>33</td></tr> <tr><td>25</td><td>4th</td><td>12</td></tr> <tr><td colspan="3">OT</td></tr> </table>	23	1st	19	10	2nd	20	16	3rd	33	25	4th	12	OT			チームB 秋田西 84 ○
23	1st	19															
10	2nd	20															
16	3rd	33															
25	4th	12															
OT																	

主審:Referee
疋田 晋 (秋田)
副審:Umpire
田村 高光 (秋田)
テーブル・オフィシャルズ:Table officials
大館国際情報学院高校

No.	PI-in	選手氏名	Name of Players	PTS	3P	2P	FT	F	No.	PI-in	選手氏名	Name of Players	PTS	3P	2P	FT	F
4	×	高橋 慶	CAP	10	0	3	4	2	4	×	河村 祐亮	CAP	11	0	4	3	2
5	×	金村 正輝		8	0	3	2	2	5	×	大塚 直道		5	1	1	0	5
6	／	小嶋 克稔		4	0	1	2	0	6	／	浅野 大地		0	0	0	0	0
7	×	佐藤 恭輔		8	1	2	1	2	7	×	進藤 大地		47	13	3	2	3
8	×	高橋 雄大		28	8	1	2	1	8	×	嘉藤 晃平		11	3	1	0	3
9	／	菊地 敬之		12	1	4	1	2	9	／	田村 悠貴		0	0	0	0	1
10	×	長瀬 智侑		0	0	0	0	0	10	×	石澤 雄太		6	0	3	0	1
11		小野寺 慶		-	-	-	-	-	11		寺田 舜		-	-	-	-	-
12		阿部 隼平		-	-	-	-	-	12	／	鎌田 朋大		0	0	0	0	1
13	／	佐々木 洸人		4	0	2	0	3	13	／	工藤 恭輔		4	0	1	2	4
14		高橋 雄也		-	-	-	-	-	14		木村 望		-	-	-	-	-
15		善村 大樹		-	-	-	-	-	15		伊藤 光熙		-	-	-	-	-
16		鈴木 裕士		-	-	-	-	-	16		菅原 周弥		-	-	-	-	-
17		鈴木 寿仁		-	-	-	-	-	17		山内 望達		-	-	-	-	-
18		斉藤 巧		-	-	-	-	-	18		小林 来世		-	-	-	-	-
19		石垣 大輝		-	-	-	-	-	19		真壁 航太		-	-	-	-	-
20		嵐田 優作		-	-	-	-	-	20		柴田 和延		-	-	-	-	-
21		奥山 文一郎		-	-	-	-	-	21		嵯峨 優翔		-	-	-	-	-
コーチ		佐々木 信吾							コーチ		小松 和幸						
Ａコーチ		畠山 喬丞															
合計				74	10	16	12	12	合計				84	17	13	7	20

※×:スター /:交代選手 PTS:ポイント 3P:3Pポイントシュート 2P:2Pポイントシュート FT:フリースロー F:ファウル

男子決勝リーグ第2試合は、ともに前日の第1試合を落とした秋田西高と平成高の対戦。第1P秋田西はマンツーマン、平成は2-3のゾーンディフェンスでスタート。序盤、平成はディフェンスリバウンドを確実にものにし、#8高橋(雄)の連続3Pで開始5分で13-5とリードを奪う。対する秋田西も#8嘉藤の連続3Pで追いかけるも、平成#4高橋(慶)が果敢にドライブを仕掛け、6分で19-10とさらに差を広げる。残り3分を切ると、徐々に秋田西のシュートが決まりだし、#7進藤・#5大塚の3連続3Pで差を縮める。第1P23-19平成リードで終了。

第2P平成#4高橋(慶)がスティールからレイアップを決め先制。対する秋田西は#7進藤の連続3P。開始3分で同点に追いつく。勢いに乗る秋田西は#4河村を中心にオフェンスリバウンドを奪い、#7進藤の連続3Pで差を広げる。5分過ぎ、平成はたまたまタイムアウト。ディフェンスの当たりを強くするが、流れを変えられない。第2Pだけで秋田西#7進藤が14点を奪い、39-33秋田西リードで終了。

第3P秋田西はマンツーマン、平成は2-3のゾーンディフェンスでスタート。秋田西はリバウンドから速攻に繋げ、さらに差を広げる。平成は3-2のゾーンディフェンスに変えるも、秋田西#7進藤の勢いが止まらない。3連続3Pを含む計20点を奪い、72-49秋田西リードで終了。

第4P開始早々、平成は1-2-1-1のゾンプレスを仕掛ける。秋田西のファウルトラブルもあり、徐々に流れは平成に。平成#8高橋(雄)の連続3Pや#5金村のリバウンドシュートがファウルを貰いバスケットボールカウント、残り3分で13点差にするも、試合終了。平成の粘りも及ばず、84-74で秋田西が勝利を収めた。

大会名 Competition	第41回全国高等学校バスケットボール 選抜優勝大会秋田県予選【男子決勝リーグ】
No. A-4	Year Month Day Time 2010 年 10 月 30 日 13 : 30
場 所 Place	能代市総合体育館



秋田県高等学校体育連盟
バスケットボール専門部

チーム A 能代工 88 ○	<table border="1"> <tr><td>26</td><td>1st</td><td>20</td></tr> <tr><td>28</td><td>2nd</td><td>11</td></tr> <tr><td>20</td><td>3rd</td><td>13</td></tr> <tr><td>14</td><td>4th</td><td>10</td></tr> <tr><td></td><td>OT</td><td></td></tr> </table>	26	1st	20	28	2nd	11	20	3rd	13	14	4th	10		OT		チーム B 秋田西 54 ●
26	1st	20															
28	2nd	11															
20	3rd	13															
14	4th	10															
	OT																

主審:Referee
佐藤 匠 (秋田)
副審:Umpire
水木 順仁 (秋田)
テーブル・オフィシャルズ:Table officials
大館国際情報学院高校

No.	PI-in	選手氏名	Name of Players	PTS	3 P	2 P	FT	F	No.	PI-in	選手氏名	Name of Players	PTS	3 P	2 P	FT	F	
4	／	熊坂 兼		0	0	0	0	0	4	×	河村 祐亮	CAP	12	0	6	0	3	
5	×	西島 宏哉		23	1	7	6	0	5	×	大塚 直道		2	0	1	0	4	
6	×	笹木 皓太	CAP	4	0	2	0	0	6	／	浅野 大地		2	0	1	0	1	
7	×	秋葉 真司		7	0	3	1	3	7	×	進藤 大地		16	1	4	5	5	
8	×	志水 一希		7	0	3	1	0	8	×	嘉藤 晃平		11	3	1	0	3	
9	／	中山 祐樹		23	0	10	3	0	9	／	田村 悠貴		0	0	0	0	1	
10	／	熊谷 慎也		2	0	1	0	0	10	×	石澤 雄太		7	0	3	1	3	
11		田中 浩喜		-	-	-	-	-	11	／	寺田 舜		0	0	0	0	2	
12	×	溝坂 太成		4	0	2	0	2	12	／	鎌田 朋大		2	0	1	0	0	
13		土屋 真人		-	-	-	-	-	13	／	工藤 恭輔		0	0	0	0	0	
14	／	野里 惇貴		15	1	5	2	0	14	／	木村 望		0	0	0	0	0	
15	／	中村 正也		1	0	0	1	3	15	／	伊藤 光熙		2	0	1	0	0	
16	／	伊藤 健太		1	0	0	1	2	16		菅原 周弥		-	-	-	-	-	
17		金田 海郷		-	-	-	-	-	17		山内 望達		-	-	-	-	-	
18		吉川 磨		-	-	-	-	-	18		小林 来世		-	-	-	-	-	
19	／	三浦 基		1	0	0	1	0	19		真壁 航太		-	-	-	-	-	
20		松橋 広武		-	-	-	-	-	20		柴田 和延		-	-	-	-	-	
21		高橋 一生		-	-	-	-	-	21		嵯峨 優翔		-	-	-	-	-	
コーチ		佐藤 信長							コーチ		小松 和幸							
Aコーチ		安保 敏明																
合 計				88	2	33	16	10	合 計				54	4	18	6	22	

※×:スター 〳:交代選手 PTS:ポイント 3P:3Pポイントシュート 2P:2Pポイントシュート FT:フリースロー F:ファウル

男子決勝リーグ第1試合は、41連覇を狙う能代工高とシード校を破り4強入りした秋田西高の対戦となった。第1P両チームともハーフコートマンツーマンディフェンスでスタート。能代工は#5西島のセンタープレー、#6笹木の3Pなどで加点していく。対する秋田西は#8嘉藤の3P、#4河村のインサイドで対抗。一進一退の攻防の中、能代工#8志水、#12溝坂のドライブインでリズムをつかみ、第1P26-20能代工リードで終了。

第2P両チームとも第1P同様マンツーマンでスタート。秋田西#8嘉藤の3Pなどで28-27と差を縮める。能代工は1-2-2のゾーンプレスからの2-3のゾーンディフェンスにディフェンスを変更。秋田西は能代工のディフェンスを攻めあぐむ。パスミスを繰り返し、4分間ノーゴール。たまたま1回目のタイムアウトを取るも流れを変えられず、能代工は#9中山の速攻、#14野里のアウトサイドからのシュートで差を広げ、54-31と能代工23点差リードで前半終了。

第3P両チームともハーフコートマンツーマンディフェンスでスタート。能代工#5西島のインサイドなどで連続得点。対する秋田西も#7進藤の速攻、#10石澤のドライブインなどで反撃するも、なかなか差を縮められない。能代工は#9中山を中心に、リバウンドを支配。速攻やインサイドプレーに繋げ、さらに差を広げる。第3P74-44と能代工30点差リードで終了。

第4P能代工はディフェンスを第2P同様1-2-2のゾーンプレスからの2-3のゾーンディフェンスに変更。豊富な運動量で秋田西を圧倒する。秋田西はシュートまでつなげるも決められない。能代工#9中山、#14野里が得点を重ね、危なげなくリードを守り、最終的に88-54で能代工が勝利した。

大会名 Competition	第41回全国高等学校バスケットボール 選抜優勝大会秋田県予選【男子決勝リーグ】
NO. B-4	Year Month Day Time 2010 年 10 月 30 日 13 : 30
場 所 Place	能代市総合体育館



秋田県高等学校体育連盟
バスケットボール専門部

チーム A		チーム B
平成	(17 1st 24 22 2nd 24 9 3rd 20 16 4th 18 OT)	秋田南
64 ●		86 ○

主審:Referee 升屋 章 (秋田)
副審:Umpire 佐々木 一也 (秋田)
テーブル・オフィシャルズ:Table officials
能代商業高等学校

No.	Pl-in	選手氏名	Name of Players	PTS	3 P	2 P	FT	F	No.	Pl-in	選手氏名	Name of Players	PTS	3 P	2 P	FT	F
4	×	高橋 慶	CAP	7	0	3	1	3	4	×	鈴木 将	CAP	3	1	0	0	3
5	×	金村 正輝		2	0	1	0	1	5	×	清水 拓摩		21	0	10	1	0
6	/	小嶋 克稔		15	0	6	3	2	6		野田 和哉		-	-	-	-	-
7	×	佐藤 恭輔		6	1	1	1	0	7	/	藤 翔太		2	0	0	2	0
8	×	高橋 雄大		22	4	5	0	4	8	×	佐藤 貴法		17	4	2	1	4
9	/	菊地 敬之		8	0	4	0	0	9	/	館岡 混人		26	6	4	0	1
10	×	長瀬 智侑		0	0	0	0	0	10	/	中島 健太		0	0	0	0	1
11		小野寺 慶		-	-	-	-	-	11		齊藤 凌也		-	-	-	-	-
12		阿部 隼平		-	-	-	-	-	12	/	成田 海		0	0	0	0	1
13	/	佐々木 洸人		4	0	2	0	0	13	×	中道 聖也		12	1	4	1	2
14		高橋 雄也		-	-	-	-	-	14	×	渡邊 基大		5	0	2	1	1
15		善村 大樹		-	-	-	-	-	15		船木 聖悟		-	-	-	-	-
16		鈴木 裕士		-	-	-	-	-	16	/	館岡 裕介		0	0	0	0	1
17		鈴木 寿仁		-	-	-	-	-	17		石川 貴大		-	-	-	-	-
18		斉藤 巧		-	-	-	-	-	18		小坂 洋人		-	-	-	-	-
19		石垣 大輝		-	-	-	-	-	19		竹村 峻		-	-	-	-	-
20		嵐田 優作		-	-	-	-	-	20		七尾 新太郎		-	-	-	-	-
21		奥山 文一郎		-	-	-	-	-	21		鈴木 諒		-	-	-	-	-
コーチ		佐々木 信吾							コーチ		村越 竜也						
Aコーチ		畠山 喬丞							Aコーチ		佐藤 絵里子						
合計				64	5	22	5	10	合計				86	12	22	6	14

※×:スター /:交代選手 PTS:ポイント 3P:3Pポイントシュート 2P:2Pポイントシュート FT:フリースロー F:ファウル

男子決勝リーグ第一試合は、平成高校と秋田南高校の対戦となった。平成は2-3のゾーン、秋田南はマンツーマンでのスタート。立ち上がりは固さの見える平成に対し、秋田南が開始5分で13-0と先行する。開始5分20秒、平成は④高橋がカットインからゴールをねじ込み、さらにはアシストパスでチームを鼓舞し、その後は平成が差を詰め24-17で第一ピリオドが終了する。迎えた第二ピリオド序盤秋田南は⑧佐藤貴、⑨館岡の3Pでリードを広げるが、中盤以降外角からのシュートミスが続く。対してメンバーがバランスよく得点を重ねた平成がじわりじわりとその差を縮め、一時は点差は4点に。しかし、第二ピリオド終盤秋田南が得点を重ね、第二ピリオド終了のブザーと共に④鈴木木の3Pが決まり、48-39で折り返すこととなった。

第三ピリオドは秋田南⑨館岡が大爆発。このピリオドだけで3P3本を含む11得点の活躍を見せ、攻めあぐむ平成との差を20点に広げる。平成高校はリバウンド、ルーズボールも秋田南に支配され、前半見せたようなディフェンスからの展開につなげられないシーンが目立った。

最終ピリオドもリバウンド、ルーズボールを支配する秋田南、攻めてを欠く平成の構図は変わらず、86-64で秋田南が決勝リーグの初戦を勝利で飾った。点差は22点と離れたが、両チームともリバウンドにルーズボールに速攻にと、ひたむきにボールに向かっていく姿が印象的な好ゲームであった。